

2/14(金) の発表



報道発表資料の配付日時

2/14(金) 15時30分

発表項目 (行事名)	(速報) 感染性胃腸炎患者等の発生について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施場所) 月 日 () 時 分～	発表者	
		発表場所	
概 要	<p>○詳細については別紙のとおり</p> <p>◆速報 (感染性胃腸炎 (5類感染症) の集団発生について速報するもの)</p> <p>苦小牧保健所 保育所 16名 ノロウイルス</p>		
参 考			

報道 (取材) に当たっての お 願 い	<p>本公表は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第16条の規定に基づき、個人情報の保護に留意の上、感染症の発生状況等に関して必要な情報を公表するものです。 つきましては、報道に当たって、個人のプライバシー等の保護のため特段のご配慮をお願いします。</p>		
他のクラブ との関係	同時配布	(場所)	
	同時レク	苦小牧保健所	

担 当 (連絡先)	<p>保健福祉部健康安全局地域保健課感染症・特定疾患グループ (担当: 角)</p> <p>電話 (代 表) 011-231-4111 (内線25-506)</p> <p>(ダイヤルイン) 011-204-5253</p>		
--------------	---	--	--

感染性胃腸炎患者等の発生について

令和2年(2020年)2月14日(金) 15:30

北海道保健福祉部健康安全局地域保健課

TEL: 011-231-4111 (内線: 25-506)

FAX: 011-232-2013

令和2年(2020年)2月13日(木)、苫小牧保健所管内の保育所において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

記

1 発生の探知

令和2年(2020年)2月10日(月)に、苫小牧保健所管内の保育所から、園児及び職員がおう吐、下痢、発熱などの症状を呈している旨、同保健所に通報があった。

2 発生の概要

苫小牧保健所管内の保育所の園児13名及び職員3名の計16名が、2月1日(土)から2月11日(火)にかけて、おう吐、下痢、発熱などの症状を呈し、うち13名が医療機関を受診し、治療を受けた。(入院した者はいない。)

3 現在の状況

2月14日(金)現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。

4 経過

2月1日(土)～11日(火)

おう吐、下痢、発熱などの有症者発生

2月10日(月)

保育所から保健所に通報

2月10日(月)～13日(木)

保健所及び医療機関において、有症者のうち5名の便を
検査した結果、4名からノロウイルスを確認

5 感染経路

現在調査中

6 対応

苫小牧保健所では、当該保育所に対し、園児及び職員等の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。

7 その他

この件については、本日15時30分、苫小牧保健所においても資料配付を行っています。
報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。

ノロウイルスとは

ノロウイルスとは、世界中に広く分布し、急性胃腸炎の原因の一つとなるウイルスである。
ノロウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にすることや、感染者との接触等による二次感染によって起こり、主に11月から3月に集中しているが、一年を通して発生がみられる。

主 症 状：吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱(軽度)

潜 伏 期 間：24～48時間

経 過・予 後：通常3日以内で回復、予後は良好

【道内の感染性胃腸炎の集団発生状況

2月14日(金)現在】

	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
件数(件)	220	151	168	190	188	148	146	27
有症者数(人)	5,052	3,257	4,031	4,671	4,454	3,019	3,010	500

*政令市(札幌市を除く)保健所分を含む。

*定点医療機関からの感染性胃腸炎患者報告数については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。(http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html)